

主任技術者の兼務届出書

年 月 日

和歌山県知事 宮 崎 泉 様

所 在 地
商 号
代表者氏名

令和7年度 和こセ第1号 こころの医療センター管理棟空調設備改修工事の現場に配置する主任技術者について、下記の工事を兼務させるので届け出ます。なお、下記工事は発注者から配置技術者の兼務について了解を得ています。また、下記工事と合わせて当配置技術者が管理する工事件数は3件以内（災害復旧工事等を含まない場合は2件）であることを申し添えます。

記

1 届出の理由

<input type="checkbox"/>	いずれかの工事の配置技術者が専任を要するため
<input type="checkbox"/>	いずれの工事も総合評価落札方式により発注された工事であるため

注(1) 該当する理由に○印を付けること。（どちらも該当する場合は両方に○印を付けること。）

2 既に配置されている工事

相手工事①

発 注 者			
工 事 番 号			
工 事 名			
工 期	年 月 日から	年 月 日まで	
施 工 箇 所			
技術者氏名	技術者の従事役職		

相手工事②

発 注 者			
工 事 番 号			
工 事 名			
工 期	年 月 日から	年 月 日まで	
施 工 箇 所			
技術者氏名	技術者の従事役職		

注(1) 監理技術者が兼務する場合は、当様式を使用せず、「監理技術者等（専任特例1号）の配置届出書」若しくは「監理技術者（専任特例2号）の配置届出書」を使用すること。
(2) 応札する工事又は兼務する工事において、受注者の責によらない理由により、やむを得ず監理技術者への途中変更が必要となった場合は、応札する工事における技術者の途中交代を認める。ただし、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保される等、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

3 兼務させる理由

<input type="checkbox"/>	工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められるため
<input type="checkbox"/>	施工にあたり相互に調整を要するため（資材の調達を一括で行う場合や工事の相当の部分を同一の下請業者で施工する場合等も含む）

注(1) 該当する理由に○印を付けること。

4 兼務工事箇所図

- それぞれの工事場所を示す位置図を添付すること。（A4,1枚）
（※）工事現場間の移動距離は10km程度以内であること。
- ただし、兼務対象工事に密接な関係のある災害復旧工事等を含む場合は、兼務対象工事及び主たる営業所が同一の建設部管内（災害復旧工事等以外の建設工事は10km程度以内に近接した工事）であること。

注(1) 管内図等を使用し応札する工事と兼務する工事の箇所を記載するとともに、自動車で通行可能な経路を記載し、経路距離を明記すること。
(2) 応札する工事と兼務する工事が同一箇所である場合は、「同一箇所における兼務」と記載すること。
(3) 不要な欄は斜線等で消すこと。